

本文：ハバクク 3:2

日付：2010年 8月 22日

礼拝：主日 3部礼拝

主よ、リバイバルをください

<御言葉>

【主】よ。私はあなたのうわさを聞き、【主】よ、あなたのみわざを恐れました。この年のうちに、それをくり返してください。この年のうちに、それを示してください。激しい怒りのうちにも、あわれみを忘れないでください。

<祈禱>

愛と恵みと慈悲深い父なる神様。私達が心に切なく求める想いがありました。我々全てを聖霊充滿に導いてください。聖霊の中で変化され、癒され赦され、新しい力を与えてください。我々の心が変わり神様の大きな恵みを体験し、私達を通して家庭が変化されて職場と事業場が変化され、社会が変わることを願います。主の福音で南北統一が成し遂げられ、神様の栄光だけが表われる事を願います。イエス様の御名でお祈りします。アーメン  
ハレルヤ、今日は、ハバクク3章2節を持ちまして、"主よ、リバイバルをください"この様な題目で恵みを交してみます。

私たちがイエス様を信じて人生を生きる間、一番大事な事は、聖霊充滿になる事です。教会が教会らしくなり、リバイバルする秘訣は、聖霊で充滿になることです。私達が聖霊充滿を受ける時に我々の心に驚くばかりのリバイバルの奇跡が現れるのです。家庭が変わり、祝福が迫ってきて、職場と事業場が変わり、キャンパスが変わり、社会が変わる驚きの奇跡が始まるのです。聖霊充滿を受ける時に教会に驚きのリバイバルが繰り返起きるのです。私が1964年4月にソデモンにある純福音教会に参加した時に講壇の傍にスローガンがついていました。何と書いてあるか聞いてみると" LORD, SEND A REVIVAL"、"主よ、リバイバルをください"この様な言葉が書いてあったのです。だから私は、見つめる度に"主よ、リバイバルをください。主よ、リバイバルをください。"この言葉が私の心に響きました。教会に参加するすべての聖徒達も同じ気持で願いました。だから聖霊様が、私達に滝の様に臨まれてどんなにたくさんの聖徒達が津波のように押し掛けてくるのか、ソデモンロータリーが麻痺するぐらいでした。頼んでもないのにソデモン警察署の方で交通整理をしてくれるぐらいでした。

聖霊充滿を受けるとこの様な驚きの奇跡が起きるのです。皆さん、全てが、"主よ、聖霊充滿をください！驚きのリバイバルの奇跡を臨ましてください。"切に祈り祈るときに神様の恵みが臨まれるのです。リバイバルが臨まれるのです。今日、この地に必要なのは、他にありません。リバイバルが必要なのです。霊的リバイバルが必要なのです。朝鮮半島の平和統一は、この地に霊的なリバイバルが起きてこそ主の福音で一つになれるのです。ドイツが主の福音で一つになったように世界で唯一な分断国家である韓国にもただ主の福音だけが統一の力になるのです。だからこそ私達が主の前で叫んで祈らなければならないのです。主よ、リバイバルを許してください。リバイバルをください。

ハバクク預言者は、ユダヤ国がたくさんの問題と困難の中で国運が傾いている時に神様の前でリバイバルのために切に祈りを捧げました。

まず、ハバククの祈りを見てみましょう。

## 1. ハバククの祈り

ハバクク1:2-3

【主】よ。私が助けを求めて叫んでいますのに、あなたはいつまで、聞いてくださらないのですか。私が「暴虐」とあなたに叫んでいますのに、あなたは救ってくださらないのですか。なぜ、あなたは私に、わざわいを見させ、労苦をながめておられるのですか。暴行と暴虐は私の前にあり、闘争があり、争いが起こっています。

ハバククが活躍していた時代は、紀元前612年、南ユダヤが完全に国運が傾く直前の時でした。何故、神様が選ばれた国が、その民がこのような絶望の中に落ちるのでしょうか？それは、かれらが道徳的に墮落し霊的に墮落して神様の心から離れてしまったからです。罪を繰り返す、偶像崇拜を犯しながら問題と絶望の中で暮らしていたのです。それで神様が彼らを裁かれバベロンが彼らを侵略し捕虜となってしまったのです。その時に彼らを統治していたヨホヤギムという王がどんなにひどい王だったのか、神様の御言葉を聞きもせず無視してあ、いました。エレミヤ預言者が巻き物に御言葉を書いて罪悪を警告すると王は、その巻き物をギザギザにして火の中に投げてしまいました。それでユダヤ王国は滅亡してしまいました。

皆さん、罪を犯して墮落すると神様の裁きが来ます。韓国も今日、これほどまでに豊かに暮らせ、驚くばかりの恵みを受けたのもこの地に1299万のクリスチャンが主の御前に悔い改めと感謝の祈りを続けているから奇跡がおきるのです。

ハバクク預言者は、国運が傾いてる時に国のすべての問題を胸に抱いて主の御前に切に祈りました。泣き叫ぶ祈りを捧げたのです。"何故、これほどまでに罪が深く、これほどまでに問題が多いのに祈りに応えてくれないのですか？主よ、何故、このまま放っておくのですか？何故、救ってくださらないのですか？この様な絶望の中に落としたままにするのですか？"この様に彼の祈りを始めたハバククは、後になって祈りが変わり始めました。

ハバクク3:2

【主】よ。私はあなたのうわさを聞き、【主】よ、あなたのみわざを恐れました。この年のうちに、それをくり返してください。この年のうちに、それを示してください。激しい怒りのうちにも、あわれみを忘れないでください。

主の話聞いて、御声を聞いて驚きました。主よ、驚くばかりのリバイバルの奇跡がこの地に臨まれることを信じます。近いうちにリバイバルを許してください。主の御技が表われることを願います。

皆さん、私達が、私達の力でリバイバルさせる事はできません。主が供にされてこそ教会のリバイバルが起きるのです。ですから私達が主の御前で切に悔い改め、主よ、この地にリバイバルをください。

リバイバルとはどういう意味でしょうか？ 死んだたましいが生き返る事です。眠っていた霊魂が目覚めるのです。これがリバイバルです。

主よ、この地にもう一度リバイバルの奇跡が表われます様にしてください。エゼキエル37章の乾いた骨が聖霊の風によりよみがえり軍隊となった様に、この乾いた骨のような、荒野のような現実にもう一度、聖霊の風が吹いてくださりもう一度、驚くばかりのリバイバルの奇跡が起きるように導いてください。主よ、リバイバルを許してください。ところが、このリバイバルの奇

跡が神様側から見ると御言葉と聖霊の奇跡で我々に臨まれ、人間側から見ると神様に進み出る徹底的な悔い改め運動、祈禱運動をい通してリバイバルの奇跡が表われるのです。

私達が悔い改めない限りどんなリバイバルも期待できません。何故、祈りにこたえがないのでしょうか？何故、奇跡が起きないのでしょうか？何故、いつも難しさと絶望の中に落ちているのでしょうか？悔い改めないからそうなのです。私達が涙を流しながら悔い改め祈ると主の御心通りに生きようと頑張ったあの時、イエス様との初恋の思い出がもう一度、湧いてくるのです。

詩篇 51:17

神へのいけにえは、砕かれた霊。砕かれた、悔いた心。神よ。あなたは、それをさげすまれません。

ルカの福音書 15:7

あなたがたに言いますが、それと同じように、ひとりの罪人が悔い改めるなら、悔い改める必要のない九十九人の正しい人にまさる喜びが天にあるのです。

神様は、悔い改めを喜ばれると聖書に書かれています。

私達が、胸を叩きながら心の底からの悔い改めをしなければなりません。

父なる神様、我々の罪を赦してください。熱心に祈らず、感謝もせず、小さいことに怒り、愚痴をこぼし争い、自分の感情を押しえきれなかった今までを赦してください。御言葉に従い生きられなかった事をお祈りします。主よ、すべてを降ろして御言葉に従い生きる事ができるように導いてください。神様の栄光のために用いられる我々すべてになります様に導いてください。1907年にピョンヤンに大リバイバルが起きました。このリバイバル運動は、悔い改めの運動、祈り運動、伝道運動だったのです。ところが、この運動が始まったのは、1903年のハージ牧師を中心に起きたウオンサン大リバイバル集会を通して起き始めたのです。

1903年ウオンサンで宣教師達が集まって祈禱会を始めました。その時にカンウオンドで働いていたメソジスト教団のハージ牧師が御言葉を取り次ぐときに聖霊のあぶらの注ぎを受けました。そして、悔い改めを始めました。"私は、驕慢でした。私が祈らなかった為に驕慢になり奇跡が起きなかったのです。"聖霊の大きな感動を受けたので一緒にいた宣教師達が一斉に恵みを受けて御言葉を取り次ぐとウオンサンの聖徒達が恵みを受けて、その波がピョンヤンに届き、その波が南へと南へと流れ驚くばかりの恵みが韓国を覆う奇跡が始まったのです。

1907年ピョンヤン・ジャンデヒョン教会にリバイバル運動が起きた時にその教会の代表長老が立ち上がって悔い改めました。"私の友だちが死ぬ間に財産を私に残しました。そして、家族をよくめんどろ見てくれと言い残しました。だけど私は、その中の一部を自分で使い込んで家族に戻しませんでした。今、悔い改めます。"

私が今日、礼拝を終えて使い込んだお金を戻します。"彼らはショックを受けながらも恵みを受けました。一人一人、立ち上がって悔い改めました。教会の床を叩きながら転げ回りながら悔い改めました。"

それで彼らは、その日から変わりました。アルコール中毒から抜け出して、麻薬中毒から抜け出して、博打から抜け出して、罪を犯し不義で放蕩から抜け出して、罪のピョンヤンから東洋のエルサレムに変わる驚きの奇跡が表われたのです。当時、この光景を見ていたヘリス宣教師は次のように語ります。"たくさんの方々が読み書きをならい始め、偶像崇拜がなくなり、"

酔っぱらい、博打、殺人、狂信者の儒教、仏教信者達が変わりました。学校がたてられ病院もたてられ、禁酒、禁煙運動が活発に展開され、女性の地位が向上され "

土俗宗教と偶像崇拜から解放され日本植民地政策に対抗する民族意識を高め、独立運動をお越す基礎となったのです。そして、リバイバル運動の結果、韓国のソドムと言われたピョンヤンは、わずか15年で尊さで燃える東洋のエルサレムになったのでした。このピョンヤンリバイバル運動が起きた=てから100万救霊運動が起きて宣教師から子供達までで伝道用のトラクトを持って福音を伝えたのでした。それで、ウオンサンでおきた驚くばかりのリバイバルが全国に拡散され全ての人々に神様の大きな恵みを体験したのです。これがソウルに、そして、ますます南に福音の炎が燃え移って拡散されたのです。それでこの時から、早天祈禱会運動が始まったのです。断食して伝道する運動が始まったのです。そして、叫びながら祈るが流行り始まったのです。何故、今日、祈りの応えがないのでしょうか？徹底的な悔い改めが先ず、なくてはなりません。悔い改めなしに祈りの応えはあり得ません。悔い改めのないリバイバルはあり得ないのです。我々が暮すソウルを見てください。どんなに罪悪だらけの街になったでしょうか？路地ごとに飲み屋で溢れています。また、誘惑のネオンだらけです。若者達が酒によって罪のなかで迷いながら生きています。私達全てがこの様な姿を放っておいているのです。私達が悔い改め、もう一度、主の前に戻れるように努力しなければなりません。

主よ、この地に驚くばかりのリバイバルの奇跡を授けてください。私達の心、心の中に先ず、驚くばかりのリバイバルの奇跡が臨まれるように導いてください。徹底的な悔い改めを通してもう一度、主の驚くばかりの悔い改めの恵みを回復するようにしてください。

悔い改めの涙で神様の前に進むときに神様が驚くばかりのリバイバルの奇跡を私達に授けてくださるのです。

## 2. リバイバルへと導かれる神様

二番目にリバイバルへと導かれる神様に対して分かち合いましょう。

悔い改めると神様がリバイバルを赦して下さいます。私達がリバイバルさせるものではありません。神様がリバイバルをくださるのです。

リバイバルは、神様がなされる事なのです。

使徒の働き2:47

神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。

私達が救いを受ける人々を増やすのではなく、主が救いを受ける日とを日毎に増して下さるというのです。感謝なのは、先週、新来者の数の報告を見ると1月から6月まで新しく登録した教会員が、8千名を越えました。一ヶ月に1300名以上です。ハレルヤ。

神様の栄光です。引き続き、新来者が相次いでいるのです。もっとリバイバルしなければなりません。もっと熱心に伝道しなければなりません。徹底的に悔い改め、まだ信じないたましいを主の導かなければなりません。皆さんの家族の中でまだイエス様を信じない人がいたならばまず先に悔い改めましょう。両親を伝道できず、夫を伝道できず、妻を伝道できず、子供を伝道できなかった罪を悔い改め、彼らを主の御前に導くのです。この礼拝堂の中に席が足りなく

なって満員になるぐらいに伝道して伝道しなければなりません。

主よ、リバイバルをください。

その為に私達がまず先にイエス中心、神様中心にならなければなりません。

マタイの福音書6:33

だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

詩篇127:1

【主】が家を建てるのでなければ、建てる者の働きはむなし。【主】が町を守るのでなければ、守る者の見張りはむなし。

私達がいくら努力しても主が助けてくださらなければリバイバルは、起きないのです。奇跡は迫ってこないのです。神様の奇跡が、祝福が、私達が悔い改めず、祈らなければリバイバルは迫ってこないのです。

主が、この驚くばかりの事を今でも我々の中で施してると言う事実を忘れてはなりません。

エレミヤ33:2

「地を造られた【主】、それを形造って確立させた【主】、その名は【主】である方がこう仰せられる。

神様が我々の行いを受けられ、祈りを受けられ、献身を受けられ、我々の愛を受けられ、驚くばかりのリバイバルを我々に赦してくださいました。神様だけを信じて委ねて神様の御前に絶対的な謙遜で、砕かれた姿になる皆様になってください。決して自分自身の姿を表せずに、神様の御前にひれ伏せて謙遜に祈り、静かに主の御声に耳を傾ける主の働き人になってください。

ハバクク2:20

しかし【主】は、その聖なる宮におられる。全地よ。その御前に静まれ。

全ての地は、全ての人々は神様の御前で謙遜に静まりなさい。ハレルヤ。

私達がひれ伏せて主の驚くばかりのリバイバルを慕い叫んで祈らなければなりません。

ハバクク3:2

【主】よ。私はあなたのうわさを聞き、【主】よ、あなたのみわざを恐れました。この年のうちに、それをくり返してください。この年のうちに、それを示してください。激しい怒りのうちにも、あわれみを忘れないでください。

主よ、その働きを近いうちに成し遂げてください。その働きをいち早く成し遂げてください。主が、家族の救いの驚くばかりの奇跡を早く、成し遂げてください。主が、私達を変化させ、家族を変化させてくださり、社会を変えてください。この国を変えてくださり驚くばかりの奇跡をいち早く成し遂げてください。主が、南北統一の驚きの奇跡を早く成し遂げてください。リバイバルに対する尊い夢と進行を持って進み行く皆さんになってください。

へブル書11:1

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

私達が信仰を持って進むときに神様の奇跡と祝福が迫ってくるのです。

使徒の働き5:14

そればかりか、主を信じる者は男も女もますますふえていった。

使徒の働き19:20

こうして、主のことは驚くほど広まり、ますます力強くなって行った。

そうです。神様が供にされると大きなリバイバルが起きるのです。

私達が最初にヨイドに移った時のリバイバルに戻らなければなりません。その時は、毎月、5千人づつ新来者が増えました。今の千人、1300人だけでは、当時の5分の1にしかならないのです。

父なる神様、あの時のリバイバルをもう一度、赦してください。もう一度、赦してください。毎月、数千名が悔い改めしゅに戻ってくる奇跡が表われるようにしてください。主の福音が全ソウルを覆い、全韓国を覆い、あの北朝鮮までも覆うように導いてください。このような奇跡は、神様の仕事です。ですから私達が碎けて低くなり、準備出来ると神様がその仕事を成し遂げるのです。神様が栄光を受け止められるのです。ペテロが聖霊を受けて駆け出して福音を伝える説きに1日に3000名、5000名、数万名が主の御前に悔い改めて戻ってきた様に私達が聖霊を受けて福音を伝える説きに数千名の人々が主の御前に戻ってくる奇跡が迫ってくるのです。初代教会の共同体がこの様な聖霊充滿の共同体でした。聖霊を受ける前には彼らは、恐れて震えて隠れました。でも聖霊を受けて変わりました。聖霊を受けたら福音を伝えなくてはならない主の働き人となったのです。聖霊充滿を受けると教会が愛の共同体と変わったのです。初代教会には、貧しさで苦しむ人はいなかったのです。教会に入ってくると貧しく、飢えた人々が、全てが愛の仕えを通して神様の祝福を受けました。それで不足のない人生を生きるようになるのです。愛と幸せを分かち合う事は、恵みをうけた人ならば当然の事なのです。無理やりにするではありません。聖霊充滿をうけると愛を実践するしかないのです。そのような私達が愛を実践する人と変化される奇跡が起きるのです。

主よ、私達を聖霊充滿に導いてください。聖霊の人となって驚くばかりのリバイバルの主人公になり愛の実践者と導いてください。

主の愛を実践し、神様の栄光の為に献身する皆さんになる事をお祈りします。

グアテマラの奇跡の町、アルモロンガ(Almolonga)リバイバルに対して話します。このアルモロンガと言う町は、山岳都市です。この山岳都市は、1970年代までクリスチャンは誰もいなかったぐらいでした。ここの人々は、偶像崇拜をしていました。不正腐敗、無知、アルコール中毒、暴力、売春、魔術、この様な罪惡の町でした。ところが神様が聖霊充滿の僕達をたてて、その地域に驚くばかりのリバイバルを起こしたのです。代表的な人物としてカルバリ教会のマリアノ・リスカフチェ牧師でした。彼は、偶像を崇拜し酒にはまっていた人物でした。ところがある日、神様の御声が聞こえてきました。"私に仕えさせるために貴方を選んだのだ"その御声を聞いて悔い改めました。3日目に聖霊充滿を受けました。そして、聖霊充滿を彼の人生を通して全家族が救いを受けました。そして、教会に大きなリバイバルが臨まれたので

す。ところが、その地域に福音を伝えるに一番難しかったのは、その地域の人々が崇拝していたマクシミオンがありました。自らつくり自ら崇拝しているのです。この暗闇がこの町を覆っていました。それで、彼らが全ての主の僕達に祈り、聖徒達が祈りながらその悪霊と戦い始めたのです。その時に神様の驚くばかりの奇跡により数多い占い師や偶像崇拝者達が主の御前に戻ってきたのです。彼らが断食して徹夜で祈り、サタンの縛りから自由になり驚きのリバイバルが迫って来て教会ごとに人々が集まって溢れました。病が癒され、たくさんの奇跡が起きたのでした。皆さん、1970年代までその地域に飲み屋が34個ありましたが、2005年に最後の飲み屋が店を閉めてしまいました。そこに牢屋が4個所ありましたが、段々と罪人達が減っていき1988年には牢屋が、閉鎖されてしまいました。そして、町のビルの名前がほとんど聖書の人物の名前と変わりました。この町を神様が祝福してくださり貧しさ、不毛の地だったけれど神様が全てを変えてくださったのです。どこでも地を掘ると水が湧いてきて、そこにニンジンを植えると腕の大きさの様なにんじんが収穫されたのです。神様が祝福されるので地も祝福を受けたのです。ハレルヤ。

それでどうやってこの様に農事が上手く行くのか他の地域の農業学者達が見学に来るぐらいでした。それで、彼らは答えました。"神様によく仕えれば、祝福は迫ってきます。"1年に3回、収穫し日毎に豊年を成し遂げ豊かに暮せるようにして下さるのです。それでアルモロンガ市内には、聖徒数が何千名を越える教会が、24個もあります。教会毎にリバイバルの奇跡が毎日起きているのです。暴力で染められた家庭達が一つ一つ、回復されたのでした。女性と子供達は、発言権もなかったのですが人格的に守られ始め偶像崇拝で、酒で麻薬で覆われていたこの国が変化され、街が変わり、神様の大きな祝福をうけるリバイバルする都市となったのです。6-7千名しかいなかった都市が、2万4千名を越える大都会となり90%以上がイエスを信じる驚くばかりの奇跡が起きたのでした。この様なリバイバルの奇跡が今日、韓国にも臨まれなくてはなりません。今日、この地に臨まれなくてはなりません。今日、この街に臨まれなくてはなりません。

主よ、この様な主の奇跡が我々の心の中に、家庭の中に、街の中に臨まれてください。暗闇が消え去り、全ての貧しさと呪いが退き、神様の栄光が、神様の恵みが、神様の祝福が臨まれるように導いてください。

この様な奇跡が臨まれる様に私達は、神様から哀れみの恵みを体験しなければなりません。

### 3. 哀れみを施す神様

三番目に哀れみを施す神様に対して分かち合います。

ハバクク3:2

【主】よ。私はあなたのうわさを聞き、【主】よ、あなたのみわざを恐れました。この年のうちに、それをくり返してください。この年のうちに、それを示してください。激しい怒りのうちにも、あわれみを忘れないでください。

その当時、どのくらい沢山の罪を犯し、不義で放蕩な生き方をしたのか神様のお怒りで世を潰そうとしました。ですからハバククがそれをよく知っていました。自分達が罪を犯して裁かれる事を知っていて、主の恵みに訴えたのです。

"御怒りの中でも、裁きの中でも、我々を哀れ見てください。私達を哀れんでください。我々を哀れんでください。主の哀れみを表わしてください。"

哀れみとは、懲罰を受けなければならない人々に神様の愛で変化され、癒され、救いを受ける事を話しています。

詩篇103:13

父がその子をあわれむように、【主】は、ご自分を恐れる者をあわれまれる。

父なる神様、私達の罪の為にこの様な問題と難しさを受けて、神様が怒られましたが主よ、私達の弱さを哀れ見てください。私達にもう一度、リバイバルを下さい。私達の民族が受けなければならない裁きをよく知っています。私達が仕える神様は、いつくしみの豊かな神様なのです。

エペソ2:4-5

しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、罪過の中に死んでいたこの私たちをキリストとともに生かし、——あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです——

神様は、我々を哀れ見る神様なのです。

イエス様は私達にいつくしみと慈悲を施されるイエス様なのです。

イエス様がこの地にこられて、生まれつき目の見えないバルテマイがイエス様のうわさを聞いて進んできました。そして、叫びました。" ダビデの子よ、私を哀れんでください。私を哀れんでください。 "

イエス様が道を歩まれては止まり、 " あの人を連れてきなさい " そして、聞きました。

" 私に何を願いますか？ "

" はい、見る事を願います "

" 貴方の信仰通りになります "

哀れみを、哀れみを見られた瞬間に目が開いたのです。

やもめが一人息子を亡くしました。どんなに深い悲しみなのか言葉に言い表せませんでした。泣きながらついていくときにイエス様をご覧になりました。その女性を見て哀れんで息子を生き返らせてくださったのです。主が哀れむと奇跡は表われるのです。問題は解決されるのです。病が癒されるのです。傷つけられた家庭が回復されるのです。私達に問題があり、私達が罪を犯し、見捨てられ当然なのにも関わらず、主の御前で悔い改めれば、主の怒りが哀れみに変わり奇跡を施して下さるのです。哀れみの豊かなる神様にハバククが叫び求めました。 " 主よ、主の奇跡を数年内に表わしてください。 "

私達が悔い改め、主の助けを求める時に神様の驚くばかりの恵みが臨まれるのです。驚くばかりの奇跡が臨まれます。驚くばかりの祝福が迫ってくるのです。

今日、私達に必要なのが悔い改めです。悔い改めです。イエス様を最初に信じたときに叫んで泣いて悔い改めた時の心をなくしました。目から涙が乾いてしまいました。そして、目の前の現実だけについていく我々の間違っただけの姿を悔い改めなければなりません。何でも無い事に嘆き不満をこぼした事に悔い改めなければなりません。祈らなかった事を悔い改めなければなりません。怒りの中にも哀れみをください。

皆さん、子供達が世話を焼かし、問題を起こしても主の御前にひれ伏せて祈らなければなりません。



せん。父なる神様、怒りの中でも我が家庭を哀れ見てくださり、子供達を哀れ見てくださり、問題を解決してくださってください。夫が放蕩し、家出をしても祈らなければなりません。怒りの中でも夫を哀れみてくださり悔い改め戻ってくるように導いてください。

家庭の問題が起きた時に、妻に問題が起きたときに、主の御前に祈らなければなりません。怒りの中でも我が家庭を哀れ見てくださってください。主の奇跡が臨まれる様に導いてください。主の恵みを表わしてください。叫んで祈る時に神様が祈りを聞いてくださるのです。私達が哀れみを求める時に主が霊的に眠ってしまった私達を目覚めさせ、皆さんの家庭を癒してくださるのです。皆さんの職場と事業場と、神様の恵みが川のように流れるように導いてくださるのです。

私達が主の御前で哀れみを体験すると主の奇跡が臨まれるのです。主の祝福が臨まれるのです。主の恵みが臨まれるのです。

ハバクク預言者は、その神様に捧げる祈りの最後の部分が信仰告白です。

ハバクク3:17-18

そのとき、いちじくの木は花を咲かせず、ぶどうの木は実をみのらせず、オリーブの木も実りがなく、畑は食物を出さない。羊は囲いから絶え、牛は牛舎にいなくなる。しかし、私は【主】にあって喜び勇み、私の救いの神にあって喜ぼう。

今、私に問題があり、絶望的な状況にあり、難しさがああり、苦しみがああったとしても私は、救いの神様により哀れ見てくださり、究極的に私を救ってくださり驚くばかりの奇跡を施してくださる神様により喜べるのです、喜べるのです。喜べるのです。我々に今、必要なのは何でしょうか？霊的なリバイバルです。どうすればリバイバルを体験できるのでしょうか？リバイバルは、我々がするものではなく、神様がなされる事です。私達がこの神様の驚くばかりの事、神様のリバイバルの奇跡を体験する為には徹底的に悔い改めをしなければなりません。

主よ、私達の罪を赦してください。罪と汚れを赦してください。祈らなかった事、感謝しなかった事、伝導しなかった事、小さいことに不満、不平、愚痴をこぼした事、世の中で罪と適当に妥協し神様の御心に従わなかった罪を赦してください。一見、イエスを信じる人のようにみえるが、心は霊的に病に犯され墮落した我々の姿を主よ、赦してください。

主の哀れみを求めてください。悔い改めを求める時に神様が救いの恵みを施してくださり、胃や死と赦し、奇跡を我々に溢れるように施してくださるのです。主よ、我々にリバイバルを許してください。リバイバルをください。初代教会に臨まれた驚くばかりのリバイバルの奇跡、その驚くばかりの奇跡が我々に臨まれる様に導いてください。開拓当時、ソデモン時代、ヨイド時代にあつた驚くばかりのリバイバルの奇跡が、今日、この時間、この場に、我々の心の中に臨まれる様に導いてください。切に叫びながら呼び求める時に主が天の門を大きく開き、我々を哀れみて驚くばかりの恵みで、祝福で奇跡でリバイバルで溢れさせてくださるのです。主の恵みを慕いながら、ただ信仰だけで前進していく皆さんになることをお祈りします。

<お祈り>

愛と恵みと哀れみが豊かなる父なる神様。我々が主の前で罪を犯しました。祈らず、感謝せず、世と妥協しながら生きていきました。赦してください。何事でもない事に怒り、不満しな

がら生きてきました。赦してください。人を憎み、呪い、何事でもないことに喧嘩しながら生きてきた事を赦してください。適当に世と妥協しながら生きてきた事、イエスを信じる人としてふさわしくない生き方を悔い改めます。赦してください。私達が適当に悔い改め、主の哀れみを求めます。我々を哀れ見てください。主の働きが我々の人生の中に臨まれるよう導いてください。

主よ、数年内にリバイバルをください。怒りの中でもリバイバルを忘れないでください。イエス様の御名でお祈りします。アーメン